

年間指導計画参考資料(中学校 国語)

1年

- …… 学校の授業以外での学習が可能と考えられる教材・学習活動（赤字は、変更した学習活動）
- …… 感染症対策の観点から、指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動
- 学校での授業時数

…… 学校の授業以外での学習時数を差し引いた、学校での授業時数(変更の生じていないものは黒字で表示)

※ なお、年度末までに学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。ただし、その場合、教員間でしっかりと引継ぎをすること。

≪第一学年≫ 総時数140時間のうち「書写」に20時間、「国語」に120時間を配当。そのうち「話すこと・聞くこと」に18時間程度、「書くこと」に31時間程度を当てた。													
単元名	教材名	時数	学校での 授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・ 技能	A話すこと・聞 くこと	B書くこと	C読むこと
授業開き	はる	0.5	0	●言葉の学習の意義を感じ取る。 ●交流のよさを捉え、進んで交流しようとする姿勢を作る。	●音読し情景を想像する。 ●平仮名表記の効果を捉える。 ●作品から想像したことの理由を考えながら読む。	●言葉の学習の意義を感じ取ろうとしている。			●表記の工夫やキーワードに注目して読み取っている。	●音読によって語感を磨いている。 ●表記の工夫やキーワードを捉えて読解を深めている。	(1)アイエオ (2)アイ		(1)アウエカ (2)アウ (イ)(ア)(イ)(ウ)(エ)
小中架橋	あたらしい言葉の学びへ	0.5	0.5	●小学校での言葉の学習の成果を振り返る。 ●中学校での言葉の学習の方向性を理解する。	●「あたらしい言葉の学びへ」を読んで、中学校での言葉の学習の方向性を理解する。 ●「あたらしい言葉の学びへ」を読んで、中学校での言葉の学習の方向性を理解しようとしている。				●「あたらしい言葉の学びへ」を読んで、中学校での言葉の学習の方向性を理解している。	●人生経験や学習の蓄積に応じて、言語能力はより確かで深く自由なものになることについて、理解を深めている。			(1)アイエ (2)アイ (イ)(ア)(イ)(ウ)
1 絆 ― 家族の中で ●言葉を通じて今ここに いる自分を見つめる●	海の はじまり（厚詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。			●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)カ		(1)アオ (2)ア (イ)(ア)(イ)(ウ)(エ)
	風呂場の散髪【必修①】	6	5	●成長するとは何かについて考える。 ●会話表現の特徴と効果を捉える。	①十分に言葉になっていない「岳」の言動を吟味し、その気持ちを想像する。 ①「私」が「岳」の気持ちを理解していく過程を、会話を吟味して捉え、理解に基づいて音読する。 ②自立が成長の表れであることに気づいた「私」の気持ちをまとめ、交流している。 ●会話表現の特徴や効果を考えながら音読する。	●成長するとは何かについて考えようとしている。 ●会話表現の特徴と効果を捉えようとしている。	●会話表現の特徴と効果に注意して音読している。 ●自立が成長の表れであることに気づいた「私」の気持ちについて交流している。	●自立が成長の表れであることに気づいた「私」の気持ちを的確にまとめている。 ●会話表現の特徴と効果についてまとめている。	●小説の特徴を理解している。 ●小説の登場人物の捉え方を理解している。	(1)ウエオ (1)アイウエオ		(1)アウエオ (2)アウ (イ)(ア)(イ)(ウ)(エ)	
	字のない葉書【必修②】	4	4	●家族の絆を考える。 ●心理の変化を表す表現を捉える。	①「父」の言動をを吟味し、その気持ちと気持ちの変化を捉える。 ②家族の絆について考える。 ●作者の執筆動機について、考えを交流する。	●家族の絆について考えようとしている。 ●心理の変化を捉えようとしている。	●「父」の気持ちとその変化を表現に基づいて説明している。 ●作者の執筆動機について、考えを交流している。	●「父」の気持ちとその変化を表す表現を理解している。 ●それぞれの家族に対する「父」の気持ちの違いをまとめている。	●「父」気持ちとその変化を表す表現を理解している。 ●それぞれの家族に対する「父」の気持ちの違いから、家族の絆の特徴を理解している。	●随想の特徴を理解している。 ●小説と随想の違いを理解している。	(1)ウエオ (1)アイエ		(1)アイウエオ (2)ウ (イ)(ア)(イ)(ウ)(エ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	兄やん【選択】	0	0	● 仲間の絆を考える。 ● 展開を捉える。	① サチの考えの変化に即して作品の展開を捉える。 ② 兄やんの行動を吟味して仲間の絆を捉える。 ③ 他の作品との共通点や相違点から、「兄やん」の特徴を捉える。 ④ 自分自身の家族について、深めた認識を語る。	● 仲間の絆を捉えようとしている。 ● 展開を捉えようとしている。	● 情景描写に込められたサチの気持ちについて、表現に即して考えを交流している。 ● 自分自身の家族について、深めた認識を語っている。	● 「取り決め」についてのサチの考えの変化が表れている表現を抜き出している。 ● サチの気持ちが込められた情景描写を抜き出している。	● サチの考えの変化に即して作品の展開を説明している。 ● 行動に込められた兄やんの思いを説明している。 ● 兄やんの行動がどのように仲間の絆を守ったかを捉えている。 ● 情景描写に込められたサチの気持ちを捉えている。 ● 他の作品と比較して「兄やん」の特徴を捉えている。 ● 自分自身の家族について認識を深めている。	● 小説の特徴を理解している。 ● 他の作品との共通点や相違点から、作品の特徴を捉えている。	(1)アイウ	(1)アイエカ	(1)イイイイイ	(1)イ(イ)(ウ)(カ)
発見する読み 1	初めてのちいさな旅（視点を変えて深める構成〔起承転結〕）	2	2	● 「起承転結」が視点を切り替えることで認識を深める方法であることを理解する。	● 実例に即して、「起承転結」が視点を切り替えることで認識を深める方法であることを理解することを理解する。	● 「起承転結」が視点を切り替えることで認識を深める方法であることを理解しようとしている。			● 実例に即して、「起承転結」による視点の切り替えを確かめている。 ● 実例に即して、視点の切り替えによる認識の深まりを確かめている。	● 「起承転結」を吟味して読解を深める方法を理解している。			(1)アイエカ	(1)イ(イ)(ウ)(カ)
活動を考える 1	話を「きく」	0.5	0.5	● メモの取り方を考える。	● 既習教材から「聞く」ことの重要性を確認し、「聞き取りメモ」の取り方を考える。	● 「聞き取りメモ」の取り方を考えようとしている。			● 「聞き取りメモ」例を評価している。	● コミュニケーションでは「聞く」ことが重要であることを理解している。			(1)アイエカ (2)イ	(1)イ(イ)(ウ)(カ)
話す聞く 1	お気に入りを紹介しよう	4.5	4.5	● スピーチの仕方を身につける。	● 話題探しメモ・内容構想メモを作り、スピーチで伝えたいものをはっきりさせる。 ● スピーチ・メモを作り、スピーチの構成を考える。 ● リハーサルを通じて分かりやすいスピーチ発表について考えを整理し、スピーチを行う。 ● 話し手のスピーチを受け止め、コメントする。 ● 聞き手のコメントをコメント・マップにまとめ、自分のスピーチを振り返って短い文章を書く。	● スピーチの仕方を身につけようとしている。	● 話す速度や声量、言葉の調子や間の取り方、言葉の選び方や話の順番、資料提示の仕方やタイミングなどについて検討するため、リハーサルを行っている。 ● 聞き手に対して自分の好きなものやお気に入りのものをが正確に印象深く伝わるように工夫し、話し言葉の特色を生かして、分かりやすいスピーチを行っている。 ● 話し手のスピーチに適切な反応を返ししながら聞いている。 ● 自分の経験などとしり合わせながら聞き、メモを取ってコメントを準備している。	● 伝えたいものをはっきりさせるため、話題探しメモ・内容構想メモを作っている。 ● 正確に印象深く伝わる構成を考えながら、スピーチ・メモを作っている。 ● 話し手のスピーチ発表を適切に受け止め、よい点を中心にコメントしている。 ● 聞き手からのコメントをコメント・マップにまとめ、自分のスピーチを振り返って、短い文章を書いている。	● 話し速度や声量、言葉の調子や間の取り方、言葉の選び方や話の順番、資料提示の仕方やタイミングなどなどの効果に注意し、話し言葉の特色を生かして、適切に話したり聞いたりしている。 ● コメント・マップを作るために、聞き手のコメントを読んでいる。	(1)アイエカ (2)アイ	(1)アイエ (2)イ	(1)カ	(1)イ(イ)(ウ)(カ) (カ)	
漢字を見抜く 1	漢字の成り立ち	2	0.5	● 漢字の成り立ちについて理解する。	● 文（象形文字・指事文字）と字（会意文字・形声文字）とは何かを知る。	● 漢字の成り立ちにおもしろさを感じ、漢和辞典を活用して調べようとしている。				● 「六書」「国字」について知り、漢字の一字一字を見つめる方法を身につけている。				(1)ウ(イ)(イ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
文法の学習 1	文節他	1	0.5	●文節、文節と文節との関係について理解する。 ●連文節の考え方について理解する。	●文が文節に分けられること、文節と文節との関係には、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係、接続と被接続の関係、並立の関係、補助と被補助の関係、独立の関係があることを知る。 ●連文節の考え方について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●文節、文節と文節との関係について理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。 ●連文節の考え方について理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●文を文節に分け、文の構造を考える考え方を身につけている。				(1)イ(エ)
2 生命 ― 命の鎖 ●言葉を通じて世界の中での生についての認識を広げる●	蝶（扉詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。			●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)カ		(1)アオ (2)ア	(1)イ(ア)(イ)(ウ)(オ)
	ものづくりに生きる【必修①】	5	3	●社会の中の生を考える。	①労働の社会性や創造性について具体的にまとめ、社会の中で働く意味や意義について、考えを交流する。 ②表に整理することによって異なる事例から共通点を導き出していく文章展開を捉え、交流によって確定し、要旨をまとめる。 ●労働の社会性に視点を当てて、自分の職業観をノートなどに書く。 ●文章展開の工夫について、ノートなどにまとめる。	●社会の中の生を考えようとしている。 ●展開に即して要旨を捉えようとしている。	●社会の中で働く意味や意義について、考えを交流している。 ●異なる事例から共通点を導き出していく文章展開を捉え、交流によって確定している。	●労働の社会性や創造性について具体的にまとめている。 ●異なる事例から共通点を導き出していく文章展開を表に整理し、要旨をまとめている。 ●労働の社会性に視点を当てて、自分の職業観を書いている。 ●文章展開の工夫についてまとめている。	●労働の社会性や創造性について具体的に理解している。 ●社会の中で働く意味や意義について理解を深めている。 ●異なる事例から共通点を導き出していく文章展開に即して、要旨を捉えている。	●評論の特徴を理解している。 ●文章展開に沿って要旨を捉える方法を理解している。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイエオカ (2)ア (1)アイウエ	(1)アイエオカ (2)ア	(1)イ(イ)(ウ)(オ) (1)ウ(ア)(イ)
				●自然と関わる生を考える。 ●構成に即して主張を捉える。	①表にキーワードを入れることによって、全体構成を捉える。 ①異なる事例から共通点を導き出していく文章構成を捉え、共通点に着目して筆者の主張をまとめる。 ②他の作品に表された人間と動物の関係と、筆者の主張する人間と動物の関係の違いについて交流し、人間と動物の関わり方について理解を深める。 ●動物園展示の今後の展望について、ノートなどにまとめる。	●自然と関わる生を考えようとしている。 ●構成に即して主張を捉えようとしている。	●他の作品に表された人間と動物の関係と、筆者の主張する人間と動物の関係の違いについて交流している。 ●動物園展示の今後の展望についてまとめている。	●全体構成を捉えるために、表にキーワードを入れている。 ●異なる事例の共通点に着目して筆者の主張をまとめている。 ●動物園展示の今後の展望についてまとめている。	●全体構成を捉えている。 ●文章構成に沿って筆者の主張を理解している。 ●他の作品と比較することによって、人間と動物の関わり方について理解を深めている。 ●動物園展示の今後の展望について理解している。	●評論の特徴を理解している。 ●文章構成に沿って筆者の主張を捉える方法を理解している。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイエオカ (2)アイ (1)アイウエ	(1)アイエオカ (2)アイ	(1)イ(イ)(ウ)(オ) (1)ウ(ア)(イ)
	変わる動物園【必修②】	4	2	●親から子へのメッセージを捉える。 ●詩的表現の工夫や効果を考える。	①重要な表現の意味を捉え、交流する。 ②重要な表現上の工夫や効果を考え、交流する。 ③表現に込められた親から子へのメッセージを捉えて、文章に書く。 ④同じテーマの他の作品と比較して、共通点や相違点を考え、交流する。	●親から子へのメッセージを捉えようとしている。 ●詩的表現の工夫や効果を考えようとしている。	●重要な表現の意味について、交流している。 ●重要な表現上の工夫や効果について、考えを交流している。 ●同じテーマの他の作品との共通点や相違点について、考えを交流している。	●詩的表現の意味・工夫・効果を理解している。 ●表現に込められた親から子へのメッセージを理解している。 ●同じテーマの他の作品と比較して、共通点や相違点を捉えている。	●詩の特徴を理解している。 ●詩的表現の工夫や効果を理解している。	(1)イウエオ (2)アイ	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエオカ (2)アウ	(1)イ(イ)(ウ)(オ) (1)ウ(ア)(イ)	

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準						学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
書く 1	私のブックデザイン	3.5	2	●本の魅力を伝える。	●次の手順でブックカバーを作る。 ①実物を参照して、ブックカバーの要素を捉える。 ②既習教材などから、ブックカバーを作る作品を決める。 ③作品の魅力を短い文章にまとめる。 ④帯に用いるコピーや内容紹介文などを作る。 ⑤デザインを工夫する。 ⑥ブックカバーにまとめる。 ●次の手順でブックカバー作品展を開催する。 ①説明カードを添えるなど展示方法を工夫する。 ②案内状やポスターを作り、来場を呼びかける。 ③作品展の報告書を書く。	●本の魅力を伝えようとしている。		●選んだ作品の魅力を伝える短い文章を書いている。 ●選んだ作品の魅力を端的に示すコピーや紹介文などを書いている。 ●伝えたい魅力にふさわしいデザインを工夫している。 ●作品の魅力やカバーの工夫点などを説明カードに書いている。 ●案内状やポスターを作っている。 ●作品展の報告書を書いている。	●ブックカバーの実物を参照し、その構成要素を捉えている。 ●既習教材などで魅力を感じたものを選び、作品を決めている。 ●案内状の書式や書き方を理解し、とポスターの違いを捉えている。 ●報告書の書き方を理解している。	●自分が感じたことを伝えるさまざまな表現法を身につけている。 ●案内状や報告書など、実用文の書式や書き方を理解している。		(1)アイエオ (2)アウ	(1)アイエオカ (2)カ	(1)イ(イ)ウ(ウ)エ
漢字を見抜く 2	声符による漢字の読み	2	2	●漢字の声符について理解する。	●声符とは何かを知り、漢字を見抜く練習で確かめる。	●声符による漢字のまとまりに気づき、「漢字のコラム」を参考に、特定の声符を取り上げてその声符についての自分なりの漢字のまとまりを完成しようとしている。				●形声文字の義符・声符とは何かを知り、義符・声符を見つめる方法を身につけている。				(1)カ(イ)ウ(ウ)エ
文法の学習 2	品詞分類	1	0.5	●品詞分類について理解する。	●品詞分類の手続きを知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●日本語の単語が名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞の十品詞に分けられる手続きを理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●品詞分類を考える考え方を身につけている。				(1)イ(エ)
情報と表現 1	発想をひらく・情報を集める	4	2	●学校のよさを伝える広告を作る。	●身近な生活の中にある広告コピーの表現の特徴について話し合う。 ●コピー以外の広告表現の特徴についても話し合う。 ●糸井重里の文章から、コピーを作る際の発想法を捉える。 ●自分の学校についての情報をマッピングなどを用いて整理しながら、言葉を選んでコピーを作る。 ●コピーが与えるイメージにふさわしい絵や写真を用い、デザインを工夫して学校紹介の広告にまとめる。 ●各自の作成した学校紹介の広告を発表し、互いに意見を述べ合う。	●学校のよさを伝える広告を作ろうとしている。	●作成した学校紹介の広告を発表し、互いに意見を述べ合いながら相互に学び合い、各自の表現の参考にしている。	●自分の学校や学校生活について情報を集め、その中からコピーに用いる適切な言葉を選んでいる。 ●選んだコピーにふさわしい効果的なデザインを考えている。	●糸井重里の文章から、広がりのある発想法とその必要性を捉えている。	●語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して書き、出来事や行為などを表す多様な語句について理解を深めると共に、語彙に関心を持っている。	(1)アイエオ (2)アイ	(1)アイエオ (2)イ	(1)アイエオカ (2)イ	(1)イ(イ)ウ(ウ)エ

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	二十年後【選択】	0	0	●人生・運命の不思議さを考える。 ●短編小説の技法と特色を捉える。	①物語を起承転結の四部に分け、構成を捉える。 ①犯罪者としての狡猾さと旧友を大切に思う律儀さというボブの二面性を表す表現を抜き出し、その効果を考える。 ①結末の工夫は、謎を一気に明らかにすることで、おもしろさを増す効果を狙ったものであることを理解する。 ①読んだことのある短編小説のおもしろさを紹介して、短編小説の技法と特色について理解を深めると共に、相互に読書を促進する。 ②作者の他の作品と読み比べ、人生や運命の不思議さについて、考えを交流する。	●人生・運命の不思議さを考えようとしている。 ●短編小説の技法と特色を捉えようとしている。	●読んだことのある短編小説のおもしろさを紹介している。 ●作者の他の作品と読み比べ、人生や運命の不思議さについて、考えを交流している。	●物語を起承転結の四部に分けている。 ●ボブの二面性を示す表現を抜き出している。	●起承転結の構成を捉えている。 ●ボブの二面性を表す表現の効果を理解している。 ●結末の工夫でおもしろさが増す効果を理解している。 ●おもしろさを生む、短編小説の技法と特色について理解を深めている。 ●作者の他の作品と読み比べ、人生や運命の不思議さについて理解を深めている。	●小説の特徴を理解している。 ●短編小説の技法や特色を理解している。	(1)アイウエ (2)アイ	(1)アイウエカ (2)アウ (1)イ	(1)アイウエカ (2)アウ (1)ウ(イ)(ウ)(イ)	(1)イ(イ)(ウ)(イ)
発見する読み2	物と心（人物から掘り下げる〔「性格描写」を捉える〕）	1	1	●性格描写を捉えて読解を深める方法を理解する。	●性格描写を抜き出して「浩」と「宗一」の人物像を捉え、交流を通じて人物像を掘り下げ、作品の読解を深める。	●性格描写を捉えて読解を深める方法を理解しようとしている。	●「浩」の人物像を掘り下げるために、交流している。	●人物像を捉えるために性格描写を抜き出している。	●性格描写から「浩」の人物像を捉え、交流によって掘り下げている。 ●性格描写から「宗一」の人物像を捉えている。 ●両者の人物像から作品の読解を深めている。	●性格描写を捉えて読解を深める方法を理解している。	(1)アイウエ (2)アイ	(1)イ (2)アウ	(1)アイウエカ (2)アウ (1)イ(イ)(ウ)(イ)	(1)イ(イ)(ウ)(イ)
活動を考える3	言葉でつなが	0.5	0.5	●効果的な言葉のつながりを知る。	●既習教材から、充実した言葉のやりとりを実現するための効果的な言葉のつながりの実例を捉える。 ●インタビュー例から、失敗した言葉のつながりの実例を捉え、問題意識を持つ。	●効果的な言葉のつながりを知ろうとしている。			●相手を深く理解するには、充実した言葉のやりとりを実現するための効果的な言葉のつながりが必要であることを理解している。 ●インタビューを成功させるには、効果的な言葉のつながりが必要であることを理解している。	●インタビューとは、相手をより深く知るための充実した言葉のやりとりであることを理解している。			(1)アイウエカ (2)ウ	(1)イ(イ)(ウ)(イ)

単元名	教材名	時数	学校での 授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・ 技能	A話すこと・聞 くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語 文化他
話す聞く 2	インタビューをしよう	3.5	3.5	●友達の考えていることをより深く知る。	●《インタビューを受ける側》カードを見て、知りたい出来事や体験をカードに書き出す。 ●《インタビューをする側》カードを見て、知りたい出来事や体験を選び、重要度や順番を含めて質問を考える。 ●インタビューを行う。記録役はやりとりの要点を記録する。 ●インタビューをする側、インタビューを受ける側、記録役、それぞれの立場から、インタビューを振り返り話し合う。	●友達の考えていることをより深く知ろうとしている。	●質問の内容や順番などの聞き方を工夫して、相手の身近な出来事や体験について聞き出している。	●インタビューの要点を的確に記録している。		●インタビューとは、充実した言葉のやりとりを通して、相手の考えていることをより深く知るための行為であることを理解している。 ●充実した言葉のやりとりを実現するための、質問の内容や構成について理解している。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイ		(1)イ(ア)(イ)(ウ)
漢字を見抜く 3	部首による漢字の意味	2	2	●漢字の部・部首・部首名について理解する。	●部・部首・部首名とは何かを知り、漢字を見抜く練習で確かめる。	●部首別になっていることを漢和辞典で確かめ、任意の特定の部に収められている漢字を眺め渡して、意味の関連に気づこうとしている。				●部首から漢字の意味を推測する方法を身につけている。				(1)ウ(ア)(イ)
文法の学習 3	名詞・代名詞	1	0.5	●名詞の働きについて理解する。	●名詞、名詞の種類と特徴、代名詞の種類と特徴について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●名詞、名詞の種類と特徴、代名詞の種類と特徴について理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●名詞についての見方、考え方、知識を身につけている。				(1)イ(エ)
表現に向かう読み	片言を言うまで	4	2	◎評論から学んだことをもとに、調べて書くための方法を学ぶ。 ●言葉と心の関係を考える。 ●言葉と心の関係から文章の主題を捉える。	①筆者の調査が成功した要因について、気持ち・行動・方法に分けて表に整理し、交流する。 ②比喩表現を吟味して主題を説明する。 ③言葉についてテーマを決め、立案した調査計画に基づいて調査・分析し、調査報告書にまとめる。	◎評論から学んだことをもとに、調べて書くための方法を学ぼうとしている。 ●言葉と心の関係を考えようとしている。 ●言葉と心の関係から文章の主題を捉えようとしている。	●筆者の調査が成功した要因について、気持ち・行動・方法に分けて表に整理している。 ●比喩表現を吟味して主題を説明している。	●筆者の調査が成功した要因について、気持ち・行動・方法に分けて表に整理している。 ●言葉についての調査テーマを決め、調査計画書を作っている。 ●テーマについて調査している。 ●テーマについての調査結果を分析している。 ●テーマについての調査報告書をまとめている。	●気持ち・行動・方法、全ての面で、言葉と心の関係を大切にしたら結果、筆者の調査が成功したことを理解している。 ●比喩表現を吟味して主題を捉えている。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイウエオ (2)イ	(1)アイウエオカ (2)アウ	(1)イ(ア)(イ)(ウ)(エ) (イ) (1)ウ(ア)(イ)	
4 伝統 ― 時を超えて	貝殻（屏詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。		●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)ウ		(1)アオ (2)ア	(1)イ(ア)(イ)(ウ)(イ)
	●古典の語り手を捉え語り手と対話し応答する力を高めよう● 言葉の向こうに	1	1	●言葉とその語り手について考える。 ●古典を読む時の読みの構えを作る。	●古典の言葉の背後に語り手がいることを理解する。 ●背後の語り手を捉え、語り手と応答する読みが古典読解を深めることを理解して、古典読解の読みの構えを作る。	●言葉とその語り手について考えようとしている。 ●古典を読む時の読みの構えを作ろうとしている。			●古典の言葉の背後に語り手がいることを理解している。 ●背後の語り手を捉え、語り手と応答する読みが古典読解を深めることを理解している。	●語り手と応答する読みとその意義について理解している。		(1)アイエオ (2)アウ	(1)ア(ア)(イ)	

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	竹取物語（姫の物語？ 翁の物語？）	5	4	●語り手が伝えようとしたことを捉える。 ●内容を理解して音読し、古文特有のリズムを味わう。	①絵本や童話で流布されている話と原作の差異を探して発表し、原作の語り手が伝えようとしたことに興味を持つ。 ①語り手が伝えようとした、月の世界と地上の世界の差異を、表にまとめて捉える。 ①語り手が考える地上人にとってのかけがえのないものを、帝・翁・姫の言動から捉える。 ②現代語訳による内容理解に基づいて、冒頭文を音読・暗唱し合い、古文特有のリズムを味わう。 ●語り手が翁を主人公と考えていた理由を書いてまとめる。	●語り手が伝えようとしたことを捉えようとしている。 ●内容を理解して音読し、古文特有のリズムを味わおうとしている。	●絵本や童話で流布されている話と原作の差異を発表している。 ●内容理解に基づいた音読・暗唱の交流を通じて、古文特有のリズムを味わっている。 ●語り手が翁を主人公と考えていた理由を書いてまとめている。	●語り手が伝えようとした、月の世界と地上の世界の差異を表にまとめている。 ●冒頭文を現代語訳している。	●絵本や童話で流布されている話と原作の差異に気づいている。 ●語り手が伝えようとした、月の世界と地上の世界の差異を、表から捉えている。 ●語り手が考える地上人にとってのかけがえのないものを、帝・翁・姫の言動から捉えている。	●古文特有のリズムを捉えている。	(1)アイエオ	(1)アイエ	(1)アイエオカ	(1)ア(イ)(イ)
	宇治拾遺物語（とらわれた心に突き立つ矢）	4	3	●語り手のものの見方を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方を踏まえて、音読する。	①聖と胤師の思想を対比して捉える。 ①表現に即して、無知と慮りについての語り手の考えを捉え、交流する。 ①「法然上人絵伝」に見られる当時の通念と、語り手の思想との差異を捉えて、交流する。 ②誰が語っている言葉かを明らかにした上で、登場人物や語り手のものの見方にふさわしい読み方を話し合って工夫し、聖役・胤師役・語り手役を決めて分担して音読する。 ●語り手の視点から自分の体験などを見つめ直し、文章に書く。	●語り手のものの見方を捉えようとしている。 ●登場人物や語り手のものの見方を踏まえて、音読しようとしている。	●無知と慮りについての語り手の考えについて交流している。 ●「法然上人絵伝」に見られる当時の通念と、語り手の思想との差異について交流している。 ●登場人物や語り手のものの見方にふさわしい読み方を話し合って工夫している。 ●聖役・胤師役・語り手役を決めて分担して音読している。	●語り手の視点から自分の体験などを見つめ直し、文章に書いている。	●聖と胤師の思想を対比して捉えている。 ●表現に即して、無知と慮りについての語り手の考えを捉えている。 ●「法然上人絵伝」に見られる当時の通念と、語り手の思想との差異を捉えている。 ●誰が語っている言葉かを明確に捉えている。	●内容理解を生かして音読を工夫する方法を理解している。	(1)アイエオ	(1)アイエ	(1)アイエオカ	(1)ア(イ)(イ)
	古典の仮名遣い	—	—	●歴史的仮名遣いについて理解し、読み方を身につける。	●歴史的仮名遣いについて理解し、読み方を身につける。	●歴史的仮名遣いについて理解し、読み方を身につける。				●歴史的仮名遣いについて理解し、読み方を身につけている。				(1)ア(イ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
漢字を見抜く 4	漢字の書体	1	1	●漢字の起こり、書体の変遷について理解する。	●甲骨文字・金文・篆書・隸書・楷書・行書・草書という書体の変遷、活字体（明朝体・教科書体）と手書きの楷書体の違いについて知り、漢字を見抜く練習で確かめる。	●甲骨文字や金文に関心を持ち、漢字の原義を知ろうとしている。 ●別字に読み誤らない限り、漢字の点画の書き方に過度に神経質になる必要のないことに気づき、書きやすい書き方で漢字を書きこなそうとしている。				●書体の変遷を踏まえ、書きやすい書体で漢字を書きこなす方法を身につけている。				(1)㉵(㉶)(㊵)
文法の学習 4	副詞・連体詞	1	1	●副詞・連体詞の働きについて理解する。	●副詞、副詞の種類、副詞の転成、連体詞、転成してできた連体詞について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●副詞・連体詞について理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●副詞・連体詞についての見方、考え方、知識を身につけている。				(1)㊵(㉶)(㊵)(=)
言葉と生活・言葉と文化	発音と表記 他	2	2	●発音・表記・意味の変化の歴史を理解する。	●仮名の音変化や表記の変化、漢字の音変化、語の意味変化について、日本語の歴史を踏まえて理解する。	●日本語の発音・表記・意味の変化について語史に基づいて理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●日本語の主体的な継承者として母語を捉える態度を身につけている。				(1)㊵(㉶)(㊵)(㉶) (1)㉵(㉶)(㊵)
5 世界 ― 関係の中で	大切なもの（扉詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。		●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)㉵		(1)㊵㊵ (2)㊵	(1)㊵(㉶)(㊵)(㉶)(≠)
●言葉を通じて他者との関係の中で生きる人間の姿を捉えよう●				●自己との向き合い方を考える。	●筆者の子供時代の回想をノートなどにまとめ、人物像を捉える。	●自己との向き合い方を考えようとしている。	●絵から受けた衝撃について、言葉に即して吟味した結果を説明し合っている。	●筆者の子供時代の回想をまとめている。	●子供時代の筆者の人物像を捉えている。	●随想の特徴を理解している。	(1)㊵㊵㊵㊵	(1)㊵㊵㊵	(1)㊵㊵㊵㊵	(1)㊵(㊵)(㉶)(≠)
	まなちゃんの道【必修①】	3	2.5	●回想表現の特長や意義を捉える。	①表現に即して、「まなちゃんの絵」から筆者が受けた衝撃について考え、交流する。 ①絵から受けた衝撃が読み取れる言葉を拾い出して吟味し、その結果をまとめ、説明し合う。 ②文体の変化やそれに対応する筆者の気持ちの変化を捉え、交流する。 ●回想表現の意義について書く。	●回想表現の特長や意義を捉えようとしている。	●文体の変化やそれに対応する筆者の気持ちの変化について話し合っている。	●絵から受けた衝撃について、言葉に即して吟味した結果を書いている。 ●絵から受けた衝撃で、筆者の自己との向き合い方がどのように変化したか、まとめている。 ●回想表現の意義について書いている。	●筆者が受けた衝撃について、言葉に即して吟味し、掘り下げている。 ●筆者の自己との向き合い方がどのように変化したか捉えている。 ●文体の変化やそれに対応する筆者の気持ちの変化を捉えている。 ●回想表現の意義を捉えている。	●回想表現の特長と意義を捉えている。	(2)㊵㊵	(2)㊵	(2)㊵	(1)㉵(㉶)(㊵)
	少年の日の思い出【必修②】	6	6	●他者と関わる自己を考える。 ●語りの構造から人物関係を捉える。	①表現に即して、「盗み」に至る「僕」の気持ちの変化を捉える。 ①表現に即して、「僕」の「エーミール」への思いを捉える。 ①表現に即して、「僕」が最後の行動に追い込まれていく過程を捉える。 ②語りの構造に着目して「客」と「私」の関係を掘り下げて捉える。 ●語りの構造に着目して読解を広げる。	●他者と関わる自己を考えようとしている。 ●語りの構造から人物の関係を捉えようとしている。	●表現に即して、「盗み」に至る「僕」の気持ちの変化を説明している。 ●表現に即して、「僕」の「エーミール」への思いを説明している。	●「盗み」に至る「僕」の気持ちの変化を読み取っている。 ●「僕」の「エーミール」への思いを示す表現を抜き出している。 ●語りの構造に着目して読解が広がった経験について書いている。	●「盗み」に至る「僕」の気持ちの変化を読み取っている。 ●「僕」の「エーミール」への思いを読み取っている。 ●「僕」が最後の行動に追い込まれていく過程を読み取っている。 ●語りの構造に着目して「客」と「私」の関係を掘り下げて捉えている。 ●語りの構造に着目して読解を広げている。	●小説の特徴を理解している。 ●語りの構造を理解している。	(1)㊵㊵㊵㊵ (2)㊵㊵	(1)㊵㊵㊵ (2)㊵	(1)㊵㊵㊵㊵ (2)㊵	(1)㊵(㊵)(㉶)(≠) (1)㉵(㉶)(㊵)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応			
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他
	シェークvs.バナナ・スプリット【選択】	0	0	●表現を通じた他者との関わりを考える。 ●独自の視点で読む方法を捉える。	①自分がおもしろく感じた箇所とその理由をメモする。 ①メモを発表し合うことによって、別の感じ方や見方を知り、読解の幅を広げる。 ①改めて選んだ箇所に対して、さまざまな方法で読み深めを試み、読み深められたことを書く。 ②「僕」の書き方の変化を整理して捉える。 ②ヨーランの作文と「僕」の作文に対する先生の評価を整理して、先生の評価基準を捉える。 ③先生に対する質問を考え、先生の立場でその質問に答えることによって、「僕」の作文を誤解する原因になった、先生の表現観を捉える。 ●表現力の捉え方で、既習教材と共通する点を出し合う。	●表現を通じた他者との関わりを考えようとしている。 ●独自の視点で読む方法を捉えようとしている。	●おもしろく感じた箇所とその理由を発表し合っている。 ●自分との共通点や相違点に注意しながら、友達がおもしろく感じた箇所とその理由を聞いている。 ●表現力の捉え方で、「ぬすびと面」と共通する点を出し合う。	●自分がおもしろく感じた箇所とその理由をメモしている。 ●改めて選んだ箇所に対して、さまざまな方法で読み深めを試み、読み深められたことを書いている。 ●ヨーランの作文と「僕」の作文に対する先生の評価を整理している。	●自分がおもしろく感じた箇所とその理由を捉えている。 ●自分との共通点や相違点に注意しながら、友達がおもしろく感じた箇所とその理由を聞いて、多様な読解の仕方や感じ方があることに気づき、読解の幅を広げている。 ●改めて選んだ箇所に対して、さまざまな方法で読み深めを試みている。 ●「僕」の書き方の変化を捉えている。 ●先生の評価基準を捉えている。 ●先生に対する質問を考え、先生の立場でその質問に答えることによって、「僕」の作文を誤解する原因になった、先生の表現観を捉えている。 ●表現力の捉え方で、「ぬすびと面」と共通する点を理解している。	●小説の特徴を理解している。 ●多様な読解の観点や読解法が、読みを深めるために有効であることを理解している。	(1)アイコ (2)アイ	(1)アイエ (2)ア	(1)アイエカ (2)アウ	(1)イ(イ)ウ(エ)カ (1)ウ(ア)イ
発見する読み 3	生物が消えていく（深めること・明確にすること〔視点の切り替え〕）	1	0	●自由に視点を切り替えて、事柄をより深く捉えるための方法を理解する。	●自由に視点切り替えて、事柄をより深く捉えるための方法を、実例に即して理解する。	●自由に視点を切り替えて、事柄をより深く捉えるための方法を理解しようとしている。		●自由な視点の切り替えに着目して、段落に分けている。 ●事柄をより深く捉えている語句を抜き出している。	●自由に視点を切り替えて、事柄をより深く捉えるための方法を理解している。	●自由な視点切り替えに気づき、読解を深める方法を理解している。	(1)アイコ (2)アイ	(1)アイエ (2)ア	(1)アイエカ (2)アウ	(1)イ(イ)ウ(エ)カ (1)ウ(ア)イ
漢字を見抜く 5	旧字体と新字体・簡易慣用字体	1	1	●旧字体・新字体などについて理解する。	●新字体・簡易慣用字体とは何かを知り、漢字を見抜く練習で確かめる。 ●改定された常用漢字表の字体について知る。	●同じ声符と見られるのに音に関連性がないのは新字体に整理された結果であったことを知り、旧字体を調べて確かめようとしている。				●主な新字体・簡易慣用字体の旧字体を知り、旧字体で書かれた文書の漢字を読みこなす方法に気づいている。				(1)ウ(ア)イ
文法の学習 5	指示語	1	1	●指示語の働きについて理解する。	●「これ・それ・あれ・どれ」によって指示語の働きを知り、「この・その・あの・どの」「ここ・そこ・あそこ・どこ」「こう・そう・ああ・どう」「こんな・そんな・あんな・どんな」など「こそあど言葉」と言われる類似の語を整理し、どう用いられるかを考える。	●「こそあど言葉」が体系立っていることを確かめ、その用法を理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●「こそあど言葉」によって指示される内容を的確に聞き取ったり読み取ったりする態度を身につけている。				(1)イ(エ)
文法の学習 6	接続詞・感動詞	1	0.5	●接続詞・感動詞の働きについて理解する。	●接続詞、接続詞の種類、感動詞、感動詞の種類について知る。 ●練習問題で知識を確かめる。	●接続詞・感動詞について理解し、その知識を言語活動に生かそうとしている。				●接続詞・感動詞についての見方、考え方、知識を身につけている。				(1)イ(エ)

単元名	教材名	時数	学校での授業時数	学習目標・学習活動・評価規準							学習指導要領との対応				
				学習目標	学習活動・内容	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと	伝統的な言語文化他	
情報と表現 2	見ることと読むこと（挿絵）	4	4	●メディアによる表現効果の違いについて考える。	●童話の一節を描いた二枚の絵を比べて違いに気づき、その理由について話し合う。 ●童話の一節から自分が受けたイメージを絵に描き、与えられた観点で友達の絵と比べて違いを捉える。 ●与えられた観点に従って、自分が絵に表した文章解釈を説明する。 ●教科書の挿絵を比較し、気づいたことを話し合う。 ●映像表現の特徴や限界について考えたことを文章にまとめて読み合い、認識を深める。	●メディアによる表現効果の違いについて考えようとしている。	●童話の一節を描いた二枚の絵を比べて違いに気づき、その理由について話し合っている。 ●与えられた観点に従って、自分が絵に表した文章解釈を説明している。 ●教科書の挿絵を比較し、気づいたことを話し合っている。	●映像表現の特徴や限界について考えたことを文章にまとめている。	●イメージを心に思い描きながら童話の一節を読んでいる。 ●童話の一節を描いた二枚の絵を比べて、違う理由について理解している。 ●童話の一節から自分が受けたイメージを絵に描き、与えられた観点で友達の絵と比べて違いを捉えている。 ●与えられた観点に従って、自分が絵に表した文章解釈を分析している。 ●教科書の挿絵を比較して、違いや違う理由を捉えている。 ●映像表現の特徴や限界について考えたことを読み合い、認識を深めている。	●映像表現の特徴や限界を理解し、それを比較し吟味する観点を身につけている。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイウエオ (2)ア	(1)アイウエオカ (2)ウ	(1)イ(イ)(ウ)(エ)	
読書 2	自由訳「イマジン」（抄）・ストロベリー・フィールズの風に吹かれながら	3	2	●平和への思いを伝える言葉を探り、自分の思いを語る。	①自分の言葉で平和とは何かについて表現し、ノートなどにまとめる。 ②原曲および原詞と自由訳を比較して、受容によって自由訳に付け加えられた筆者の思いを捉える。	●平和への思いを伝える言葉を探り、自分の思いを語ろうとしている。		●自分の言葉で平和とは何かについて表現している。	●原曲を聴き、原詞を読んで、受容によって自由訳に付け加えられた筆者の思いを捉えている。 ●作品の受容が主体的な更新を伴うものであることを理解している。	●詩と随想の特徴を理解している。 ●作品の受容が主体的な更新を伴うものであることを理解している。	(1)アイウエオ (2)アイ	(1)アイウエオ (2)ア	(1)アイウエオカ (2)ウ	(1)イ(イ)(ウ)(エ) (1)ウ(ア)(イ)	
	言葉のいのち	2	2	●批評の方法を学び、詩の創造について考える。	①筆者とまど・みちおの類似する作品を比較した筆者の評言を、表現に基づいて具体的に説明する。 ②筆者とまど・みちおの作品の中から、好きな作品を選び、紹介文を書いて発表する。	●批評の方法を学び、詩の創造について考えようとしている。	●詩の創造過程についての筆者の評言を具体的に説明している。 ●好きな作品についての紹介文を発表している。	●好きな作品についての紹介文を書いている。	●詩の創造過程についての筆者の評言を具体的に理解している。 ●好きな作品について、その特徴や工夫などを理解している。	●評論の特徴を理解している。 ●作品の創造過程に切り込む批評の方法を理解している。	(1)アイウエオ (2)ア	(1)アイウエ (2)ア	(1)アイウエオカ (2)ウ	(1)イ(イ)(ウ)(エ) (1)ウ(ア)(イ)	
読書案内	網の始まり 網を広げる	0	0	●教材から読み広げる方法を理解する。	●教材から読み広げる方法を理解する。	●教材から読み広げる方法を理解しようとしている。				●発展的に読み広げる方法を理解している。			[(1)カ] [(2)ウ]	(1)イ(イ)(ウ)(エ)	
言語の学習	一年生の文法の学習	2	2		「文法の学習」で取り上げた文法事項について、そのつど系統的に学ぶ。										(1)イ(エ)
	一年生の語句・語彙の学習	2	2	●語のさまざまな意味、語の分類法、語種について系統的に理解することによって、語を適切に使う力をつけ、語彙を増やす。	●語のさまざまな意味、語の分類法、語種について興味を持って学び、語の適切な使用や語彙の増強に役立てる。	●語のさまざまな意味、語の分類法、語種について興味を持って学び、語の適切な使用や語彙の増強に役立てようとしている。				●語のさまざまな意味、語の分類法、語種について系統的に理解している。					(1)イ(イ)(ウ)(エ)
	古典文法	0	0	●文語の語法・文法について理解を深める。	●文語の語法・文法について、巻末折り込み活用表と共に、古典読解の必要に応じて参照する。					●日本語の主体的な継承者として文語に関心を持っている。					(1)ア(ア) (1)イ(エ)
	今に伝わる注意したい古語	0	0	●文語の語彙について理解を深める。	●文語の語彙について、古典読解の必要に応じて参照する。					●日本語の主体的な継承者として文語に関心を持っている。					(1)イ(イ)(ウ)

【注】①上記は、学習過程における学習者の学習成果を判断するための規準として提案しています。今回大幅増補した「学びの窓」（手引き）に完全準拠して作成しました。学習に生かすための評価基準については、各学校の考え方や学習者の状況に応じて工夫していただきたいと思います。

【注】②◎で示したのは「表現に向かう読み」（単元を貫く言語活動）の大目標（表現目標）です。

【注】③読解教材の学習活動の●数字は、「学びの窓」の番号を示します。無番号の●は「まとめ」などの活動です。

【注】④「一」で示した時数は、次のように前の教材の時数に含めて考えています。（「古典の仮名遣い」→「竹取物語」、「漢文の訓読」→「故事成語」）